

中新田保育所の運営予定事業者に

株式会社NOVA（ノヴァ）を選定

町では、将来の加美町を担う子どもたちの保育環境を整え、保育の質向上を図るため、令和3年度から中新田保育所の民営化に向けた取り組みを進めてきました。

昨年5月には「中新田保育所管理運営事業者審査選定委員会（委員長 足立智昭・宮城学院女子大学教授）」を設置し、7月および10月に募集を実施。4事業者から応募があり、提案書を基にした1次審査を経て、1



▲公開プレゼンを経て最終審査を実施（1/15）



▲(株)NOVA稲吉代表（左）と協定書に調印(2/1)

月15日に公開プレゼンテーションやヒアリングによる最終審査を行いました。

その結果、最も評価点の高かった株式会社NOVAが、中新田保育所の運営予定事業者に決定しました。

基本協定を締結

2月1日には、町と社との間で事業等の移管に関する基本協定を締結。猪股町長が「これからの時代を担うグローバル（グローバル）な人材が育成されることを期待します」とあいさつし、稲吉正樹代表取締役からは「よりよい保育環境の提供に努めます」と決意が述べられました。

基本協定には、令和6年

度からの民営化スタートに向けて中新田保育所の事業の移管に関することや在所児童の受け入れに関するなどが示され、猪股町長、稲吉代表がそれぞれ協定書に調印を行いました。

三者協議会を設置

協定締結に続いて、保護者、事業者および町による「三者協議会」が設置され、第1回目のこの日は、中新田保育所保護者会の菅野諭志会長、佐々木英里子副会長を交えて、引継ぎおよび合同保育の内容に関することや移管後の保育の内容

に関するところについて協議が行われました。また、今後のスケジュールについて次のとおり確認されました。

4月以降の予定

- ▼NOVAによる保護者説明会を開催するとともに、保護者アンケートを実施
- ▼アンケートの集計・分析を行い、引継ぎ合同保育等の内容を検討
- ▼10月から3月にかけて随時、保護者説明会を開催し、令和6年4月からの円滑なスタートに向けて準備
- ▼4月の移管後も、必要に応じて三者協議を開催

問合せ 子育て支援室

☎631-7870

NOVAグループの概要

- ◆平成15年にNOVAホールディングス（本社・東京都）設立
- ◆学習塾や外国語学校の運営を全国展開し、英会話スクール929校、学習塾1,191校、保育・幼児スクール等22校を運営
- ◆宮城県内における認可保育園では、仙台八木山園、仙台富沢園の2園を運営し、今後、塩釜園が令和6年に開園予定

保育理念

子ども一人ひとりの個性と主体性を重んじ、子どもの成長とその限りない可能性を最大限に引き出すサポート保育を行います